

OSP TOP NEWS

BUSINESS INFORMATION

社内情報

'07.vol.127

<http://www.osp.co.jp>

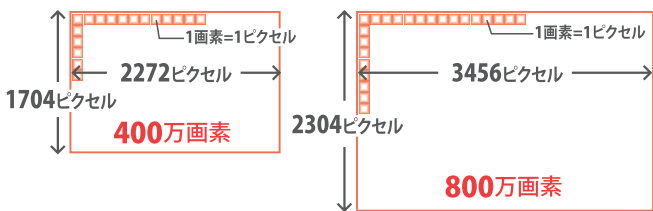
デジタル画像の入稿の基礎チェック! 画像データの入稿

シールラベルやフィルム包装などを作成する上で、写真画像は最も訴求効果をもたらします。デジタルカメラで撮影された画像の入稿が増加しています。印刷物の原稿として必要な画像データの基準を簡単に説明いたします。



チェック 印刷に必要な十分な画像の大きさですか?

デジタルカメラには300万画素・500万画素・800万画素などと性能を表す指数として、画素数が使用されます。印刷サイズに適した画素数でなければ、画像が粗くなりベストな印刷物にはなりません。



印刷サイズに適した画素数で撮影願います!



印刷サイズに適した画素数

画素数/画像全体のピクセルの総数をいい、画像は色のついたます目(=ピクセル)の集合で表現されます。画素数の数が多いほど、画像のサイズも大きくなります。

チェック 解像度は350ppiですか?

印刷の画像の再現性は解像度に左右されます。コート紙を使った通常の印刷では175線が一般的です。(1インチあたり175個の網点で構成) 画像の解像度は線数に対して2倍の解像度がベストとされています。画像解像度は350ppiをおすすめします。

解像度/一般にppi(pixels per inch)という単位が用いられ、1インチ(25.4mm)の中に並ぶピクセルの数で表現されます。

線数 × 2 = 画像解像度 ppi

仕上がりサイズに対して解像度が小さい
↓
拡大して使用すると粗い画像に

画像を拡大

350ppiは必要ですね



チェック RGBのデータですか?

一般のデジタルカメラでの撮影は写真データがRGBになります。画像処理ソフトにてCMYK画像に変換した場合、凸輪転印刷に適さない色調になる可能性があります。

CMYK画像に変換せず、RGB画像で入稿願います。

OSPでは凸輪転印刷に適した色調でCMYK画像に変換いたします。

画像処理ソフト



チェック ピント・ブレにご注意!

ピンぼけやブレの発生した画像データは修正できません。そのまま印刷されてしまいますので、十分注意して撮影願います。



入稿後の画像調整

OSPでは以下のような画像処理を施し、最適なラベル印刷をこころがけます。

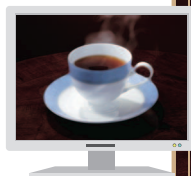
色調調整

- 人物画像の顔色が悪い
- 風景画像で空がよどんでいるケース
- 人物画像の表情が影でわかりづらい



シャープネス

- 硬い材質のもの
- ピントがあまいもの



関連バックNo.

vol.94
写真データの
入稿基本編
も参考願います

